

2019年3月期 第2四半期決算説明会
株式会社 メディアリンクス

2018年10月26日

1. 2019年3月期 第2四半期決算報告 (2018年4月～2018年9月)

(百万円)

	前年同期	実績	増減額	前年同期比
売上高	1,468	1,324	-145	-9.9%
売上総利益	825	773	-52	-6.3%
販管費	1,335	904	-431	-32.3%
営業利益	-510	-131	379	-
経常利益	-515	-139	376	-
四半期純利益※	-561	-148	413	-

※親会社株主に帰属する四半期純利益

第2四半期連結業績ハイライト(前年同期比)

(2018年4月～9月 6ヶ月間累計)

(百万円)

	期初予想	実績	増減額	期初予想比
売上高	1,650	1,324	-326	-19.8%
営業利益	-100	-131	-31	-
経常利益	-105	-139	-34	-
四半期純利益	-115	-148	-33	-

※親会社株主に帰属する四半期純利益

第2四半期連結業績ハイライト(業績予想比)

(2018年4月～9月 6ヶ月間累計)

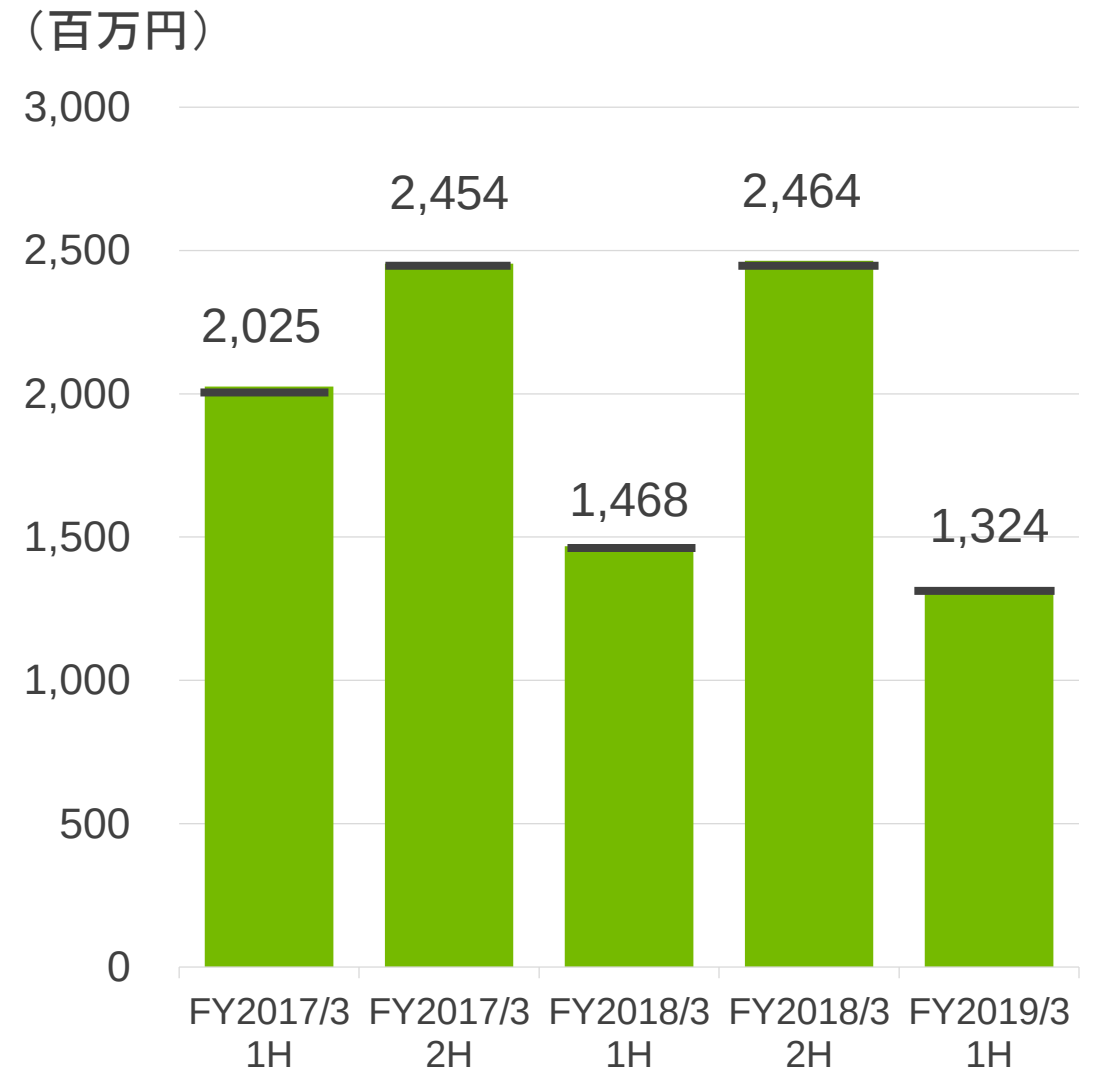
前年同期比 $\Delta 9.9\%$

ハードウェア製品 876 百万円
(前年同期比 $\Delta 17.4\%$)

ハードウェア製品比率 66.2%
(前年同期 72.2%)

海外売上比率 64.9%
(前年同期 74.9%)

連結売上高



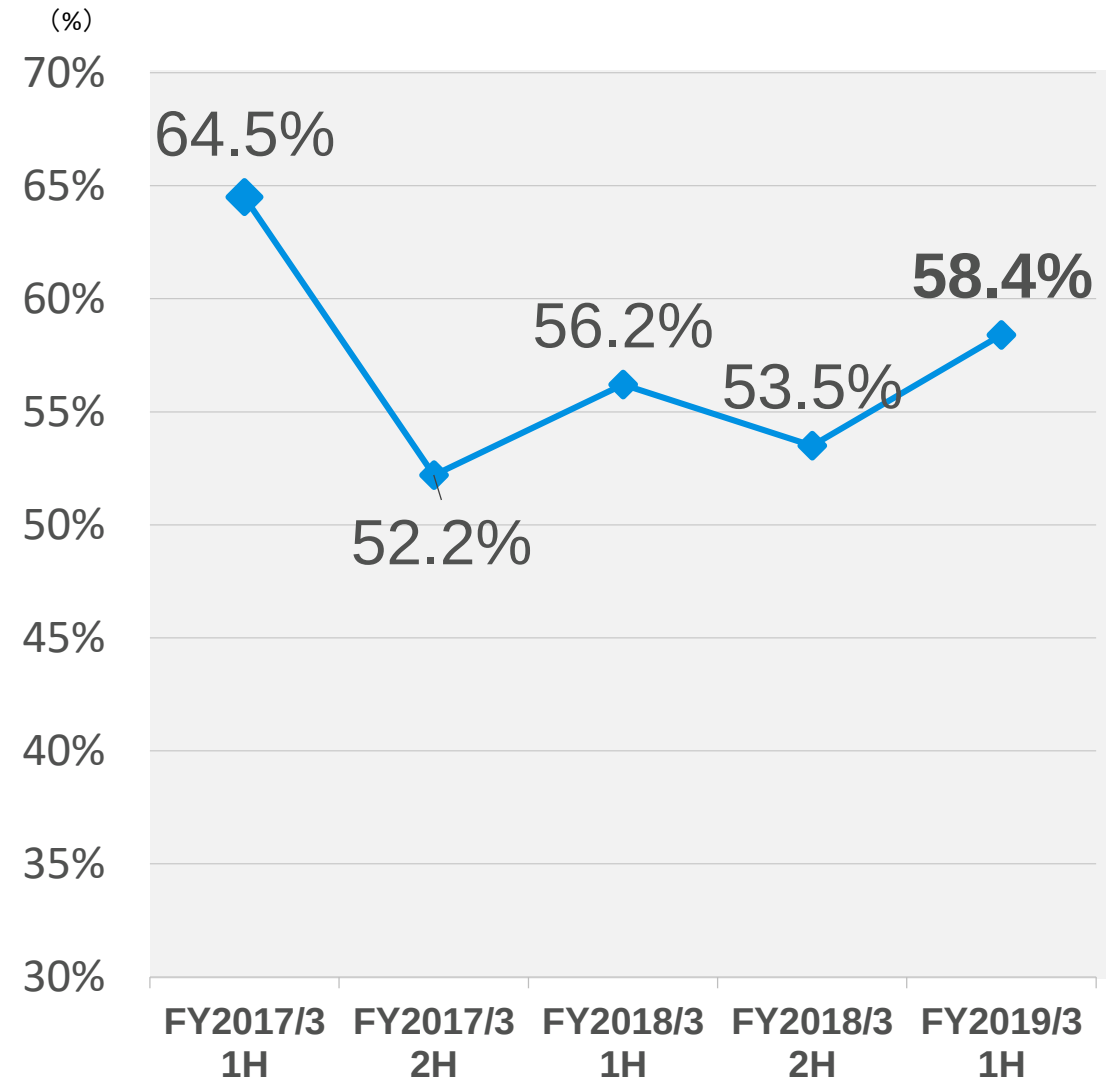
売上総利益率 58.4%

売上総利益率は、60%を下回る。これは主に日本の放送局向けのシステム構築プロジェクトの影響

製品単品販売だけを見ると一定の利益率を確保できている

主力製品MD8000シリーズの競争を引き続き維持

売上総利益率



北米市場：減収



- ・ネットワークのエッジに関する帯域幅拡大の需要が続く
- ・新規顧客を獲得
- ・一部大口顧客の設備投資計画の実行が遅れている

オーストラリア市場：減収



- ・メンテナンスサービス、ソリューション販売を中心に展開

地域別売り上げ 北米・オーストラリア市場

欧州市場：増収



アジア（日本）市場：増収



- MD8000およびMDP3020が、ロシアで開催された国際的サッカー大会に採用
- 来年度に開催予定の大規模イベントの受注に期待

- 放送局内IP化需要堅調
- 通信会社、CATV向けの映像伝送装置が堅調
- 4K、高解像度配信の需要拡大
- 韓国も同様の傾向

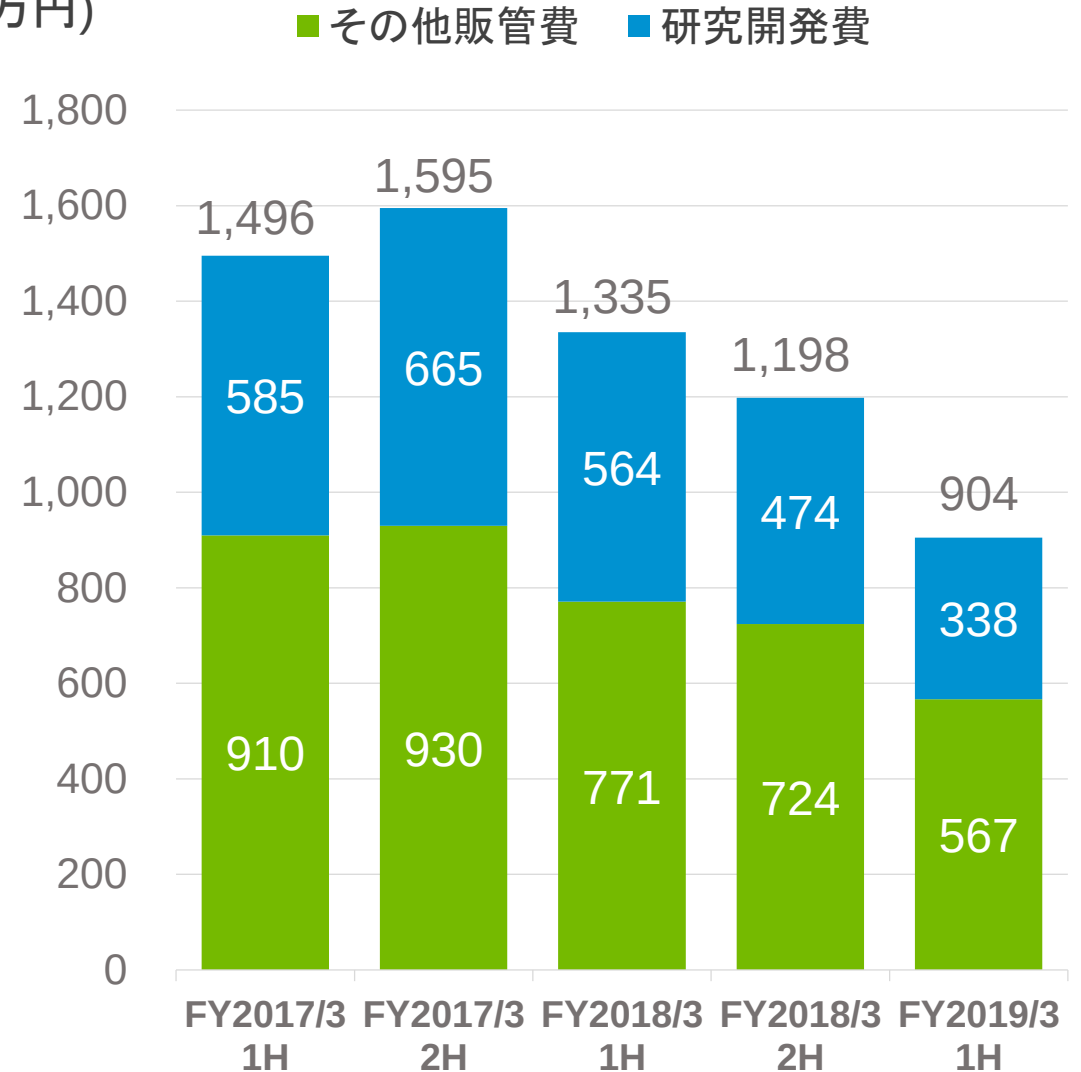
地域別売り上げ 欧州・アジア(日本)市場

- 前年同期比 Δ 32.3 %
- 研究開発費 338百万円
前年同期比 Δ 40.1 %
- その他販管費 567百万円
前年同期比 Δ 26.5 %
- 2018年9月末人員 88名
前年同期比 Δ 15名

2017年9月末	103 名
2018年3月末	95 名
2018年9月末	88 名

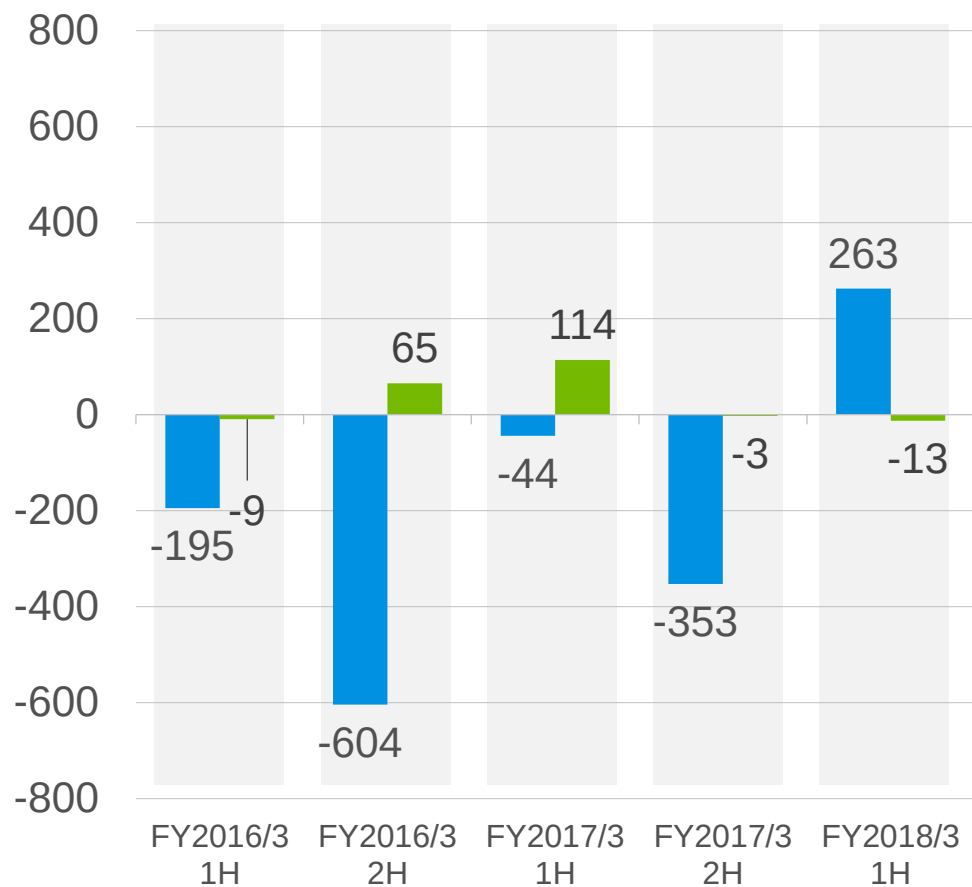
販管費

(百万円)



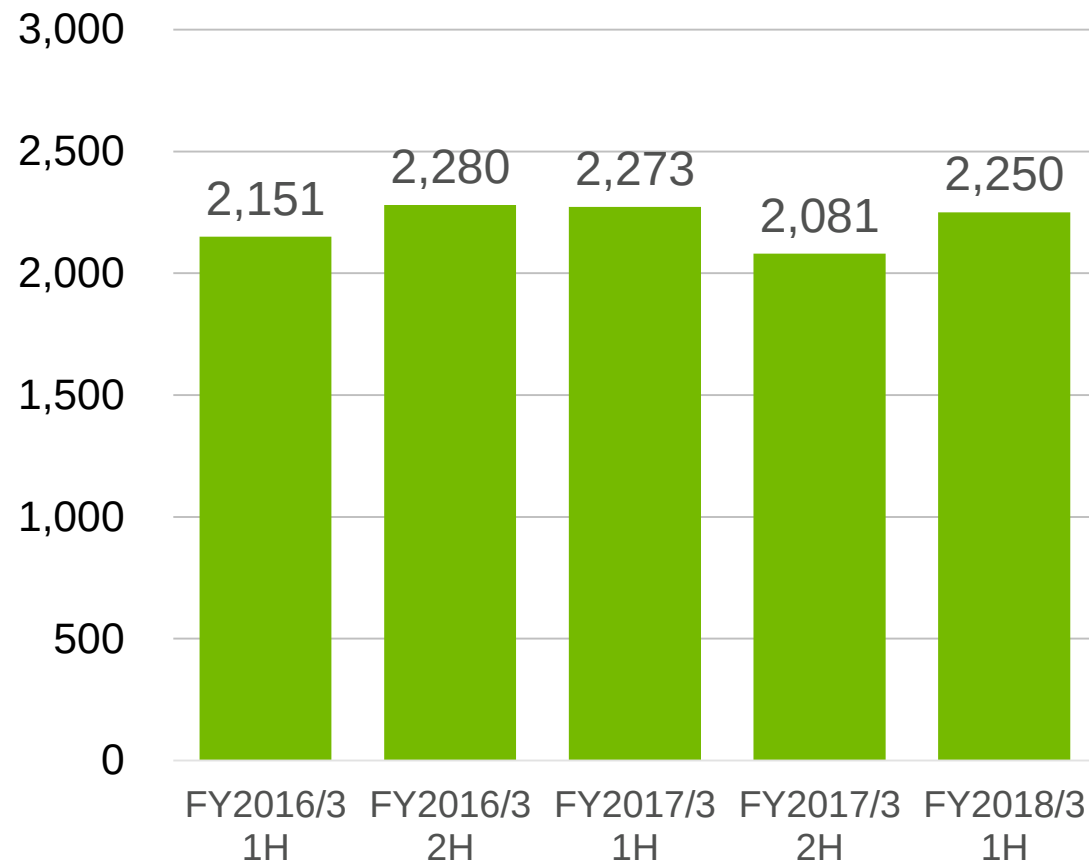
(百万円)

■ 営業CF ■ 投資CF



キャッシュフロー

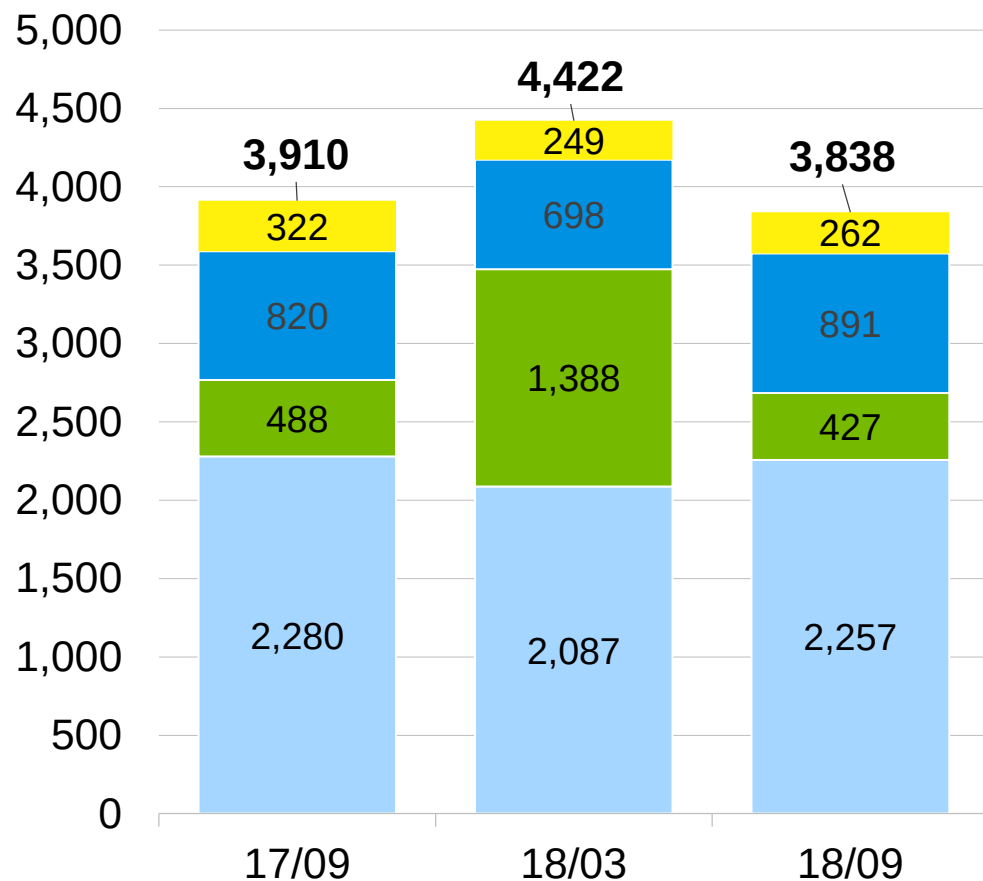
(百万円)



現金及び同等物残高

(百万円)

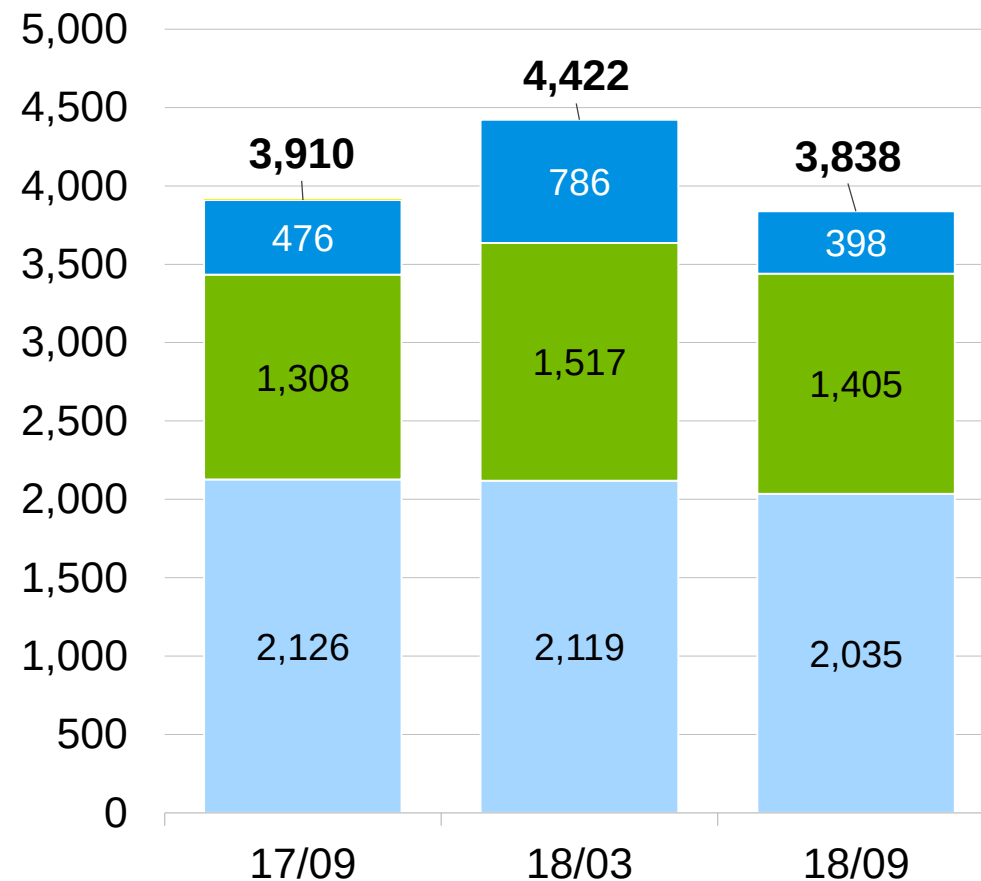
■ 現預金 ■ 売掛債権 ■ 棚卸資産 ■ その他



貸借対照表
資産

(百万円)

■ 純資産 ■ 有利子負債 ■ その他



貸借対照表
負債及び純資産

2. 2019年3月期 通期業績見通し (2018年4月～2019年3月)

想定為替レートは、前回発表の1米ドル105円から1米ドル110円に変更。
豪ドルは、1豪ドル80 円で、変更無。

(百万円)

	前年度実績	通期予想
売上高	3,932	3,900
営業利益	-391	90
経常利益	-402	80
当期利益※	-497	60

※親会社株主に帰属する当期純利益

- ・国内市場、オーストラリア市場と欧州市場は、おおよそ期初の想定通り
- ・北米市場は、回復の見通し。

2019年3月期通期 連結業績予想（前期との比較）

3. 今後のビジネス展開について

Part 3. Next steps

ワイド・エリア・
ネットワークの展望：
やや楽観的

- ・ リモートプロダクションおよびディストリビューションプロダクションのアプリケーションは、IP化がゆっくりと進行している
- ・ 追加の視聴サービスや伝送容量向上のため、スポーツ競技場と放送局を結ぶ帯域幅は拡大
- ・ UHDや4K、8Kへの取り組みは遅いが、勢いは増してきている
- ・ 帯域幅100ギガでのIP/SDIネットワーク構築が始まっている

IPビデオルーター
システムの展望：
ポジティブ

日本 – 既存規格(2022-6/TR-01)を使っており、一定の需要が見込まれる

- ・ ほぼすべてのシステムに4K UHD対応が必要 – IPへの移行を推進
- ・ 競合は数社のみで、メディアリンクスは優位に立っている（放送局向けソリューションの提供で顧客の知名度高い）

日本以外

- ・ 新しい標準規格2110の様子をうかがい、動きは鈍い
- ・ 2K HDRも検討されているため4Kの採用は、鈍い
- ・ 競合多数

テクノロジーと市場のトレンドー 短期

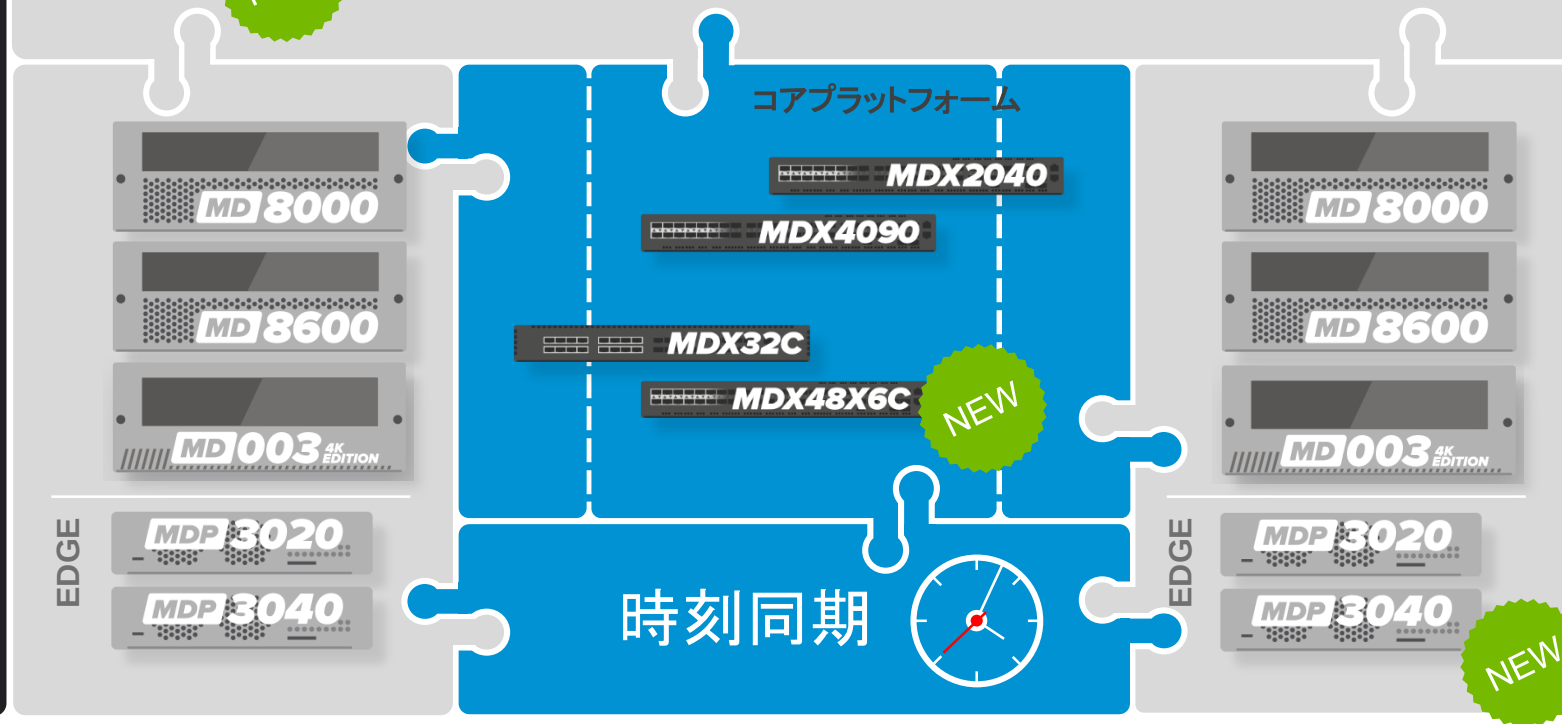
ProMD EMS

ProMD EMS

NEW

NEW 日本穂版

Media Links®
共通 LAN/WAN
IP ソリューション
アーキテクチャ
主要製品ポートフォリオ



Solution Highlights

メディアリンクス LAN/WAN アーキテクチャ

2018 ロシアで開催された世界最大規模のサッカーイベントでメディアリンクスの機材が活躍

メディアリンクスのMD8000およびMDP3000 のMedia over IP技術ソリューションは、ロシアの全てのサッカースタジアムから国際放送センター(IBC)へ、そしてIBCから世界中の配信拠点へ、4KおよびHD等の映像コンテンツ伝送に利用され、膨大な数の人たちが視聴しました。

各スタジアムからのカメラ信号はIP化され、冗長化された光回線ファイバー経路を通してIBCへと伝送されました。伝送を確実にするために、動画およびデータの大部分は、メディアリンクスが誇る無瞬断伝送サービスを通して配信されました。いくつかの試合では、日本の大手国際放送局がIBCへ圧縮した8K伝送にも利用されました。



ロシアで開催された世界最大規模のサッカー大会

ありがとうございました

Thank you very much



株式会社メディアリンクス

<http://www.medialinks.co.jp>

Tel 044-589-3440

Fax 044-589-3441

E-mail ir@medialinks.co.jp

本資料お取り扱い上のご注意

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- 本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化、研究開発の進捗、競合状況等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる場合もありますことをご承知おきください。
- 数値表記について
本資料中の数値表記は、基本的には、決算短信と同様に、百万円未満の数値は四捨五入で表記をしております。

製品	詳細	対象顧客
MD 8000	2008年発売のIP映像伝送のベストセラー機 顧客のニーズに合致した各種カードを提供	通信会社、放送局、ケーブルテレビ会社
MDP 3020	2017年発売 コンパクトで経済的な映像伝送装置	通信会社、放送局、国内ケーブルテレビ会社
 MDP 3040	2018年のIBC(国際展示会)で発表 TICO(画像圧縮方式)採用、4KUHD対応	4KUHD対応を望む通信会社、 国内ケーブルテレビ会社
 MD 003 4K EDITION	光波長多重映像伝送装置(WDM) ダークファイバー利用	国内通信会社

製品ラインアップ① 映像伝送装置

製品	詳細	対象顧客
MDX 4090 MDX 2040	IPビデオルーターシステム（放送局内IP化）のために設計されたスイッチ。	放送局
 MDX 32C MDX 48X6C	2018年のIBC（国際展示会）で発表。従来製品より高い帯域幅、容量、そして独自のIPメディアトラフィック機能 次年度以降、早い時期に発売する予定	通信会社、放送局、ケーブルテレビ会社
 ProMD EMS NEW JAPANESE EDITION	メディア伝送用ネットワーク導入に伴う伝送経路の設定等の運用管理、ネットワーク機器のリアルタイム監視、トラブルシューティング機能を提供	通信会社

製品ラインアップ② 映像伝送装置